

# 文化の高山

No.169 2015.9.30 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877

メールアドレス●mail@takayama-bunka.org  
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org  
(文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)



高山市民文化会館収蔵美術品  
洋画「夕鶴」長谷川朝風(150号 227cm×162cm)  
昭和57年、当時の文化協会会長須田圭三氏より寄贈  
高山市民文化会館1階ホワイエに展示中

## 平成28年 新年市民互礼会のご案内

新年を祝う「市民互礼会」を次のとおり開催します。市民ならどなたでもご参加いただけます。各団体や個人の新年の顔合わせも兼ねて、ぜひご参加ください。併せて飛騨文芸祭・一般の部の表彰式を行います。文芸祭にご応募いただいた皆様のご参加をお待ちしております。

- ◇日時 平成28年1月1日(金) 午前11時～
- ◇会場 高山グリーンホテル
- ◇会費 6000円 (記念品・芳名録代を含む)
- ◇申込み 11月10日(火)までに、ハガキ FAX、メールにて。
- ◇申込先 〒506-0053 高山市昭和町1-188-1 (一社) 高山市文化協会 (FAX) 0577-34-6877 (メール) mail@takayama-bunka.org



篠原無然遭難碑



篠原無然記念館

安房峠の平湯側には、「篠原無然遭難碑」が建てられており、江夏美好氏の小説「雪の碑」の最後のシーンの場所といわれています。

「雪の碑」の最後のシーンの場所といわれています。

秋は、走っても書いてもいい季節だ。「白玉の歯にしみ通る秋の夜の酒」もいけれど、文武両道はどうだろう、御同輩!!

この秋はぜひ。

(ガンモン毛筆)

高山市文化協会では、郷土の文化を支えてきた文学者の経歴と功績を紹介し、今後の文学の発展に寄与する目的で、毎年二回「近代文学館企画展」を開催しています。

今回は、社会教育の先駆者として、大正・昭和時代に高山市(特に上宝町)で大きな影響を与えた篠原無然を取り上げます。無然は、奥飛騨上宝において、青年、婦人、戸主を対象に、詩歌を通じて「飛騨人の心の美しさを持ち続け、高い理想を掲げて生き抜く力」を持つよう指導しました。そんな無然が遺した、文章、歌、詩を紹介しします。

「篠原無然」(本名 禄次) 明治二十二年三月、兵庫県生まれ。大正三年十一月上宝村第一小学校(現本郷小学校)の教員として着任。飛騨を中心に青年の教育や工女の待遇



在りし日の篠原無然

◇日時 十月三日(土)～四日(日) 午前10時～午後五時(最終日 午後四時まで)

◇会場 高山市図書館「煥章館」一階生涯学習ホール

◇入場無料

改善に尽力。また、地元の青年たちと乗鞍岳登山道を整備した。乗鞍岳の姫ヶ原、土俵ヶ原、桔梗ヶ原の命名者としても知られる。一時飛騨を離れていたが、飛騨への帰路、雪の安房峠で遭難し、三十六年の生涯を閉じた。

(ウイキペディアより抜粋)

\*\*\*

奥飛騨には、篠原無然の足跡が多数遺されています。この機会に、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

・奥飛騨温泉郷平湯の「平湯民俗館」には、「篠原無然記念館」が併設されており、無然の貴重な資料を展示しています。

「風目(目)」

文武両道とは、つまり勉強もスポーツも両方ともしつかりやれということ。

「武」の基本は「走る」ことではなからうか。スポーツ選手はまず走る。あの巨体の力士でも、駆け足をやっている。走るは、跳ぶ、投げる、打つ、蹴る、等々に広がる。

とすると「文」の基本は「書く」ではなからうか。特に文学に限らず、音楽や絵画や芝居でも、まず書くことで、頭や心の中をまとめてみるのが出発点ではなからうか。書くは変化して、しゃべって、撮って、描いて、歌って、等々と文化の花を八方に開かせていく。

もやもやしていたものが、「書いて」みて初めてハッキリすることもある。左官の狹土秀平さんは、創ると同時に又よく書く。NHKの次の大河ドラマのタイトルは、あの人が創る。秋は、走っても書いてもいい季節だ。「白玉の歯にしみ通る秋の夜の酒」もいけれど、文武両道はどうだろう、御同輩!!

この秋はぜひ。

(ガンモン毛筆)

## 第23回 高山市近代文学館企画展 篠原無然 ～飛騨青年の叫び～

ANNIE アニー

日本語吹替版

# アニー ANNIE

平成27年 11/23 月・祝

①午前10時～ ②午後2時～ (開場は各回30分前)

高山市民文化会館 小ホール 高山市昭和町1丁目188-1

○主催・お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

チケット料金(税込) 全席自由 500円 ※3歳未満入場不可となります。

10月24日(土) 午前9時～ 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333

## フルート リサイタル

# 工藤重典

チケット好評販売中

美しいフルートの音色が高山に響きます。

平成27年 10/10 午後7時開演 午後6時30分開場

こくふ交流センター さくらホール 高山市国府町広瀬町880

○主催 高山市・こくふコミュニティ施設運営協議会・岐阜県・(公財)三井住友海上文化財団

○お問い合わせ さくらホール管理事務所 (tel.0577-72-4480)

チケット料金(税込) 全席自由 (一般)1,000円 (ジュニア(18才以下))500円

さくらホール管理事務所(2F) tel.0577-72-4480

高山市民文化会館 tel.0577-33-8333

飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

●本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により、低料金に設定しています。

## アンダルシア 情熱の瞬間

チケット好評販売中

ステージから迫りくる熱き鼓動と興奮は、時を忘れ、いつしか感動の涙をさそいます。

平成27年 10/31 午後7時開演 午後6時30分開場

こくふ交流センター さくらホール 高山市国府町広瀬町880

○主催 高山市・(一社)高山市文化協会 (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

チケット料金(税込) 全席指定 (一般)2,500円(メセナイメイト会員)2,000円 (ジュニア(18才以下))500円

さくらホール管理事務所(2F) tel.0577-72-4480

高山市民文化会館 tel.0577-33-8333

飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

## オケストリアンサンガールズ 山下一史&仲道郁代

チケット好評販売中

平成27年度 文化庁文化芸術振興費補助金 (トップレベルの舞台芸術創造事業)

平成27年 11/3 午後2時開演 午後1時30分開場

高山市民文化会館 大ホール 高山市昭和町1丁目188-1

○主催 高山市・(一社)高山市文化協会・(公財)石川県音楽文化振興事業団

○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

チケット料金(税込) 全席指定 (一般)2,500円(メセナイメイト会員)2,000円 (ジュニア(18才以下))500円

高山市民文化会館 tel.0577-33-8333

飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

## 高山市文化芸術鑑賞事業

# クリスマスゴスペル 2015

# GLORY GOSPEL SINGERS

グローリー・ゴスペル・シンガーズ From NY

研ぎ澄まされたハーモニーと洗練されたアンサンブルの歌声! 「アメイジング・グレイス」「ジョイフル・ジョイフル」「オー・ハッピー・デイ」など、多数熱唱!

平成27年 12/10 木 午後7時開演 午後6時30分開場

高山市民文化会館 大ホール 高山市昭和町1丁目188-1

○主催 高山市・(一社)高山市文化協会・岐阜県・(一財)自治総合センター

○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

チケット料金(税込) [一般]3,000円(高校生以下)1,500円

全席指定 ※宝くじの助成により、特別料金になっています。 ※未就学児の入場はご遠慮願います。

チケット発売 10月17日(土) 午前10時～

高山市民文化会館 tel.0577-33-8333

飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

さくらホール管理事務所(2F) tel.0577-72-4480

## 老若男女、誰もが熱くなる!

グローリー・ゴスペル・シンガーズのコンサートは、誰にでも楽しんでいただくことをモットーにし、日本人に馴染みのある曲を中心に即興のアレンジを加え、観客をどンドン引き込んでゆく。一度は聴いたことのある曲を、生の歌声で聴けるのは、まさにこのコンサートの醍醐味。本場のゴスペル音楽は、大迫力の歌声で圧倒されます。メンバー、一人ひとりが力強く、魂から歌い上げていくライブは必聴です!

平成27年 12/10 木 午後7時開演 午後6時30分開場

高山市民文化会館 大ホール 高山市昭和町1丁目188-1

○主催 高山市・(一社)高山市文化協会・岐阜県・(一財)自治総合センター

○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

チケット料金(税込) [一般]3,000円(高校生以下)1,500円

全席指定 ※宝くじの助成により、特別料金になっています。 ※未就学児の入場はご遠慮願います。

チケット発売 10月17日(土) 午前10時～

高山市民文化会館 tel.0577-33-8333

飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

さくらホール管理事務所(2F) tel.0577-72-4480

# 高山の文化を高めた人々 63

高山市民憲章を起草  
白川 初太郎  
中林 利教



「文字とことばをやさしくするために」という本があることをご存知だろうか？

高山市名田町五丁目、昔の南小学校、今のNHK高山支局の真つ正面にあった内科医白川医院の院長、白川初太郎氏が書いた。

この本を読んだ人は少ないと思うので、少し引用しよう。「人」という漢字は、やさしく分かりやすく、世界一よい字だと思ふ。」で始まり、「私は大正末期医科大学生の頃、むづかしい漢字の医学術語を書くのが苦手であった。例えば「くさめ」は嘔嘔、「むねやけ」は呑酸嘔嘔、「おなら」(フラス)は扶羅都斯、と書いたのである。このような術語をもっと簡単な字に、そしてやさしいことばにしたならば、基礎の学問の修学能率が上がるから改めた方がよいと思つた」と続く。

全く同感である。文章の中に漢字が多いと、全体に重々しく、固く、エラそうで、威厳に満ちてもっともらしくなく、しかし、度が過ぎると、何のことかさっぱり分からなくなる。

漢字の多い小むづかしい文章は、官庁の文書に多い。元に法律用語が引用されているから、読んでいるとこつちは司法試験を受けているのではないかと思わされるのがあつて、公務員暴行陵虐致傷罪なんてすぐ書けるだろうか？

仮名は漢字を簡略化したもので、正式文章は真名の漢字で書くべし、というような心得が律令制度の昔からあつたのだろうか？

もう一つはお寺のお経。あれは仮名なしの全面的漢字の世界。インド語を漢字の音で表し、それを日本語で読むとサツパリ分からなくなる。ギヤテイギヤテイ、ハラソハーソというような。

要は漢字と仮名の配分だろう。新聞の紙面が分かり易いのは、その辺の配慮が行き届いているからだ。漢字を多く使えば字数を減らせるから、限られた紙面に内容を多く盛り込める。しかし、それでは紙面が真っ黒になつてしまふ。お経の本のように。もつとも何のことか分からない方がありがたい、というなら話は別だ。

秀樹博士は子供のころ、尻は化学的にはインドールと

「高山市民憲章」は、今も生きている。ちなみに、その時の高山市民憲章推進協議会起草委員の皆さんは、白川初太郎、畑中裕作、橋本ひな子、大野政雄、須田圭三、漆山潔、高桑了英の各氏である。

氏が起草委員長で作られた「高山市民憲章」は、今も生きている。ちなみに、その時の高山市民憲章推進協議会起草委員の皆さんは、白川初太郎、畑中裕作、橋本ひな子、大野政雄、須田圭三、漆山潔、高桑了英の各氏である。

文字とことばを やさしくするために 白川初太郎

「高山市民憲章」は、今も生きている。ちなみに、その時の高山市民憲章推進協議会起草委員の皆さんは、白川初太郎、畑中裕作、橋本ひな子、大野政雄、須田圭三、漆山潔、高桑了英の各氏である。

文字とことばを やさしくするために 白川初太郎

## 会員研修旅行 参加者募集

### 『世界遺産 富岡製糸場を訪ねて』

高山市文化協会では、協会会員を対象とした研修旅行を毎年開催しています。今回は、一昨年世界遺産に登録された「富岡製糸場」を訪ね、明治の産業振興に寄与した施設を見学します。また、軽井沢、寺泊でのショッピングや、越後の一之宮、弥彦神社への参拝も予定しています。

- ◆日程 11月26日(木)～27日(金) 1泊2日
- ◆宿泊 越後湯沢温泉(ツイン)
- ◆参加費 一名25,000円 (宿泊費・食代他。バス料金等は協会にて負担)
- ◆申し込み 10月20日(火)までに、事務局へ
- ◆定員 20名 ※文化協会会員のみ申し込み可

1日	高山発—軽井沢(ショッピング、昼食)—富岡製糸場—越後湯沢泊(夕食、宿泊)
2日	越後湯沢発—寺泊(ショッピング、昼食)—弥彦神社(参拝)—高山着

- ◆一社高山市文化協会加盟団体
- ◆文化協会後援 催事のお知らせ
- ◆飛騨書道連盟 会員展
- ◆日時 十月三日(土)～四日(日) 午前九時三十分～午後五時(最終日 午後四時まで)
- ◆会場 文化会館四階大会議室
- ◆入場無料
- ◆「五曜会」チャリティ公演
- ◆日時 十月四日(日) 午後一時開演
- ◆会場 文化会館大ホール
- ◆料金 A席三千円、B席二千円、C席無料(学生及び十八歳未満)

## 第39回 飛騨文芸祭入賞者決まる

- 《一般の部》
- ◆文芸祭賞 俳句十句 下垣内町子(高山市下岡本町) 該当者なし
- ◆江夏美好賞 短歌十首 樋田 玲子(高山市名田町)
- ◆高山市長賞 小説 松山 正利(下呂市金山町大船渡)
- ◆高山市議会議長賞 随筆 下畑 七三(高山市総和町) 児童文学 宮本 清則(高山市石浦町)
- ◆高山市教育委員長賞 短歌十首 榑原よ志丞(高山市清見町三日町) 現代詩 稲泉 真紀(高山市大洞町)
- ◆一般社団法人高山市文化協会会長賞 俳句十句 上田真穂子(高山市昭和町) 短歌十首 打保 洋子(高山市日の出町) 短歌十首 江尻 恵子(飛騨市古川町上気多) 短歌十首 片岡 和代(高山市名田町) 現代詩 後藤 順(岐阜市鏡島西) 俳句十句 小塚 高子(高山市八軒町) 小説 塚中 正夫(高山市名田町) 俳句十句 三島 芙蓉(高山市神田町) 俳句十句 水口 諄子(高山市久々野町長淀) 短歌十首 武藤 久美(高山市七日町) 随筆 鹿熊 寅造(高山市森下町)
- 《青少年の部》
- ◆青竜大賞 該当者なし
- ◆青竜賞 短歌五首 川上このか(飛騨神岡高校3年) 短歌五首 森 夢加(飛騨神岡高校2年) 短歌五首 森下 公貴(高山西高校3年) 短歌五首 森野 周(飛騨神岡高校2年) 俳句五句 荒木 健裕(高山西高校3年) 俳句五句 小鳥 雄平(高山西高校3年) 俳句五句 川上このか(飛騨神岡高校3年) 俳句五句 優飛(飛騨神岡高校2年) 俳句五句 中桐 洗輔(益田清風高校1年) 現代詩 松本 夢加(飛騨神岡高校2年)
- 表彰式:平成28年1月1日(金) 新年市民互礼会式場にて(会場:高山グリーンホテル) ※青少年の部の表彰は別途行います。

昭和55年12月発行

## 第5回 日本板画院東海支部 高山展 開催

高山市民文化会館において、日本板画院の東海支部高山展を開催します。愛知・岐阜・三重の会員でつくる東海支部の作品を展示し、大門孝藏氏をはじめ高山市在住の作家の作品も展示します。

板画(木版画)の持つ独特の風合いは、かの棟方志功をも虜にし、生涯をかけて板画作品を作り続けさせます。

その志功の呼びかけで昭和二十七年に結成されたのが日本板画院であり、東海支部高山展は今年で五回目



大門 孝藏作「冬の馬瀬川」

## 道伝えの日 芭蕉忌句会 俳句募集

高山市文化協会では、さまざまな伝統文化を後世に継承するため、高山市文化伝承館において「道伝えの日」事業を行っています。

その一環として、松尾芭蕉の命日(旧暦十月十二日)近くに「芭蕉忌句会」を開催するため、俳句を募集いたします。句歴は問いません。たくさんの方々の応募をお待ちしております。



部写真展

- ◆句会 十一月二十八日(土) 午後一時から
- ◆日時 十月十六日(金)～十八日(日) 午前九時～午後七時(最終日 午後四時まで)
- ◆会場 文化会館二階展示室
- ◆第四十回 進栄会発表会
- ◆日時 十月十八日(日) 午後一時
- ◆会場 文化会館小ホール
- ◆入場無料
- ◆主催 高山西ロータリークラブ
- ◆日時 十月四日(日) 午後二時
- ◆会場 文化会館小ホール
- ◆主催 コサカ楽器
- ◆入場無料
- ◆第七回 中日写真協会飛騨支部

## 文化協会 加盟団体紹介 【華翔会】 代表 下畑 華照

今から約四十年前、児童生徒に正しく美しい文字を教えたい、という思いから始めた華翔会は、今では子ども達と大人が共に稽古に励んでいまして、実用書道に重点を置き、「自分自身の生活に豊かさ」と願っています。漢字作品をはじめ、手紙文、仮名課題を練習し、希望者に華翔会では、細筆を用いて俳句や和歌を書いてみたいという方の入会を、いつでも歓迎しています。



華翔会